



富士重工業株式会社
代表取締役社長

森 郁夫

2006年6月27日付をもちまして、代表取締役社長に就任しました森 郁夫でございます。

本書の発行にあたり、ひとことご挨拶させていただきます。

まず、本書に関心をお持ちいただきました皆さまに感謝を申し上げます。

昨今、企業の社会的責任(CSR)が広く社会へ浸透していくなか、当社はCSRとは企業活動そのものであると解し、2004年度にCSRに対する考え方を「CSR方針」として決めました。

このCSR方針のもと「お客さま」、「商品」、「環境」、「コンプライアンス」、「社会貢献」をはじめとしたさまざまな取り組みを積極的に行い、「企業市民」として社会に貢献することが当社の使命であると考えております。

私は、当社が「存在感と魅力ある企業」として成長していくためには、このCSR方針のもとステークホルダーの皆さまをはじめとした、あらゆる社会の皆さまからのゆるぎない信頼を得られる企業になることが不可欠であると考えており、次のことを積極的に進めてまいります。

第一に、お客さまのご要望やご期待にお応えするため、当社の企業風土を「お客さま本位」の体質に変えてまいります。

当社はともすれば技術偏重に陥りがちと言われておりますが、今後は一層お客さまの視点で発想し、お客さ

まにとっての価値あるものを追求し創造し提供していく風土に改めてまいります。スバルグループすべての従業員がこのような考え方で行動し、商品のみならず品質やサービスを含めたお客さまとの接点すべてにおいてご満足いただける企業になることを従業員とともに一丸となって目指してまいります。

次に、クルマを中心とした輸送機器メーカーとして、地球に与える環境影響、交通社会に与える影響など、事業活動で与えるさまざまな影響を強く認識し、環境そして社会に配慮をした取り組みを積極的に進めてまいります。

地球温暖化をはじめとしたさまざまな環境問題が発生するなか、スバルは環境への影響を強く認識し、環境問題に対する責務を果たさなければ当社の発展はおろか生き残りさえあり得ないことと考えております。

スバル製品の設計・開発から資材や部品の調達、物流、お客さまのもとでの使用、リサイクルに至るすべての段階における環境への影響を認識し、スバルとして取り組むべき課題を新たなボランティアプランとして策定し、すべての段階をクリーンにする活動をこれからも積極的に進めてまいります。

さらに、クルマが交通社会に与える影響も十分に考慮し、乗員はもとより歩行者も含めた、スバルにかかわるあらゆる皆さまの交通安全の確保、そして安全な交通社会の実現に向けた研究や活動にも積極的に取り組んでまいります。

航空機メーカーとしての伝統とその上に培われてきた独自の先進技術を駆使し「走り」と「安全」、そして「環境」性能を高い次元で融合した「レガシィ」の「SI-DRIVE」や、軽自動車トップレベルの環境性能とお客さまの使い勝手の良さを兼ね備えた新型軽自動車「ステラ」などは、こうした想いを形にしたもので、できるだけ多くの皆さまにお乗りいただいてその想いを実感していただけたらと願っております。

最後になりましたが、この2006環境・社会報告書ではお寄せいただいた読者の皆さまのご指摘やご意見、ご感想を反映し、スバルをご愛顧いただくより多くの方々へ当社の環境や社会に対する取り組みをご理解いただけるようこれまでの報告書の構成を見直し、分かり易く表現するように心がけ、詳細な環境・社会活動の実績につきましては当社のホームページ上に別途掲載をいたしました。

多くの方に本書をご高覧いただき、スバルグループの取り組みに対して忌憚のないご意見をいただければ幸甚でございます。

2006年8月

スバルも「チーム・マイナス6%」に参加しています。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%



環境シンボルマークについて

2005年6月に、当社はスバルグループの環境シンボルマークを設定しました。マークの中心に「葉」をデザインし、「緑の大地」と「青い空」の地球をコンセプトとし、当社の環境方針に述べられている「地球と社会と人にやさしい商品と環境づくり」に積極的に取り組んでいく想いをこのマークに込めています。

企業理念

企業理念

富士重工業のモノづくりの思想は、前身である中島飛行機時代から受け継がれてきた航空機づくりの伝統の上に築かれています。航空機設計の基本思想である「最高の性能の追求」とそれを実現する「凝縮された無駄のないパッケージ」、さらに「あらゆる環境下での安全思想の徹底」が富士重

工業のDNAです。こうした伝統を大切にしながら新たな価値創造にチャレンジし、環境問題やコンプライアンスなどへも積極的に取り組み、社会との共生・調和を念頭におき、お客さまをはじめとするすべてのステークホルダーの皆さまの満足と信頼を得られる企業を目指します。

1. 私たちは常に先進の技術の創造に努め、お客様に喜ばれる高品質で個性のある商品を提供します。
2. 私たちは常に人・社会・環境の調和を目指し、豊かな社会づくりに貢献します。
3. 私たちは常に未来を見つめ国際的な視野に立ち、進取の気性に富んだ活力ある企業を目指します。

富士重工業のありたい姿を目指して

富士重工業は「存在感と魅力ある企業」というありたい姿に向かって新たな価値創造にたゆまぬ努力を続けています。このありたい姿の実現に向け、当社では2002年度からの中期経営計画FDR-1 (Fuji Dynamic Revolution-1)のうち2005年度から2年間を見直しして「修正FDR-1」を策定し新たな取り組みを進めております。修正FDR-1では収益力を強化するためにスバルのブランド価値を上げるとともに、「走り」に「安全」と「環境」を高次元で融合さ

せすべてのお客さまにすべての車で「愉しさと安心感」を提供してまいります。こうした活動を一步一步着実に推進して未来に向けて進化を続ける企業として、富士重工業ならではの価値を自動車をはじめとするすべての事業領域で実現し、従業員が誇りを持って働く企業の規範となると同時に、全世界のお客さまに愛され支持されるスバルブランドを築いていくことが私たちの夢であり願いです。

企業行動規範

富士重工業では企業理念に基づいた事業活動の実践に向けて、コンプライアンスを遵守し社会的責任を果たしながら行動していくための企業行動規範を定めています。社員一人ひとりがお互いを尊重しながらこの企業行動規範を尊

び同じ価値観で行動することを通じて、豊かな社会づくりに貢献し皆さまに信頼される企業となるべく努力を続けてまいります。

1. 私たちは、環境と安全に十分配慮して行動するとともに、創造的な商品とサービスを開発、提供します。
2. 私たちは、一人ひとりの人権と個性を尊重します。
3. 私たちは、社会との調和をはかり、豊かな社会づくりに貢献します。
4. 私たちは、社会的規範を遵守し、公明かつ公正に行動します。
5. 私たちは、国際的な視野に立ち、国際社会との調和をはかるよう努めます。

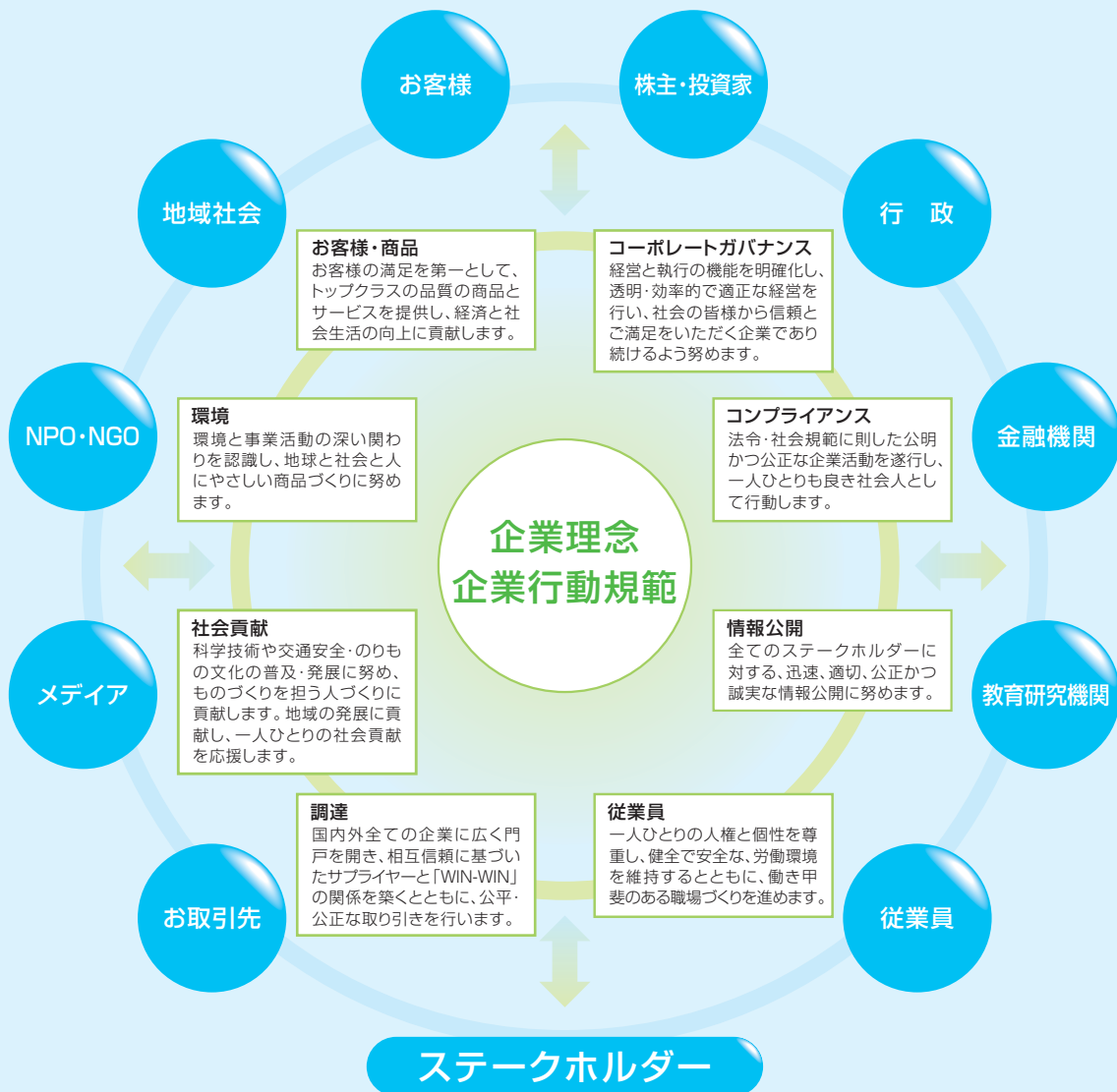
CSR(企業の社会責任)について

富士重工業のCSRに対する考え方

当社はCSRとは企業理念の反映であり企業活動そのものであるととらえ、「企業理念」がすなわち「CSR方針」であると考えています。

CSRの取組み

富士重工業は「コーポレート・ガバナンス」、「環境」、「コンプライアンス」、「社会貢献」をはじめとしたさまざまなテーマに対し積極的な取組みを行っています。



※ CSRとはCorporate Social Responsibilityの略で、「企業の社会的責任」を意味します。
 ※ コーポレート・ガバナンスとはCorporate Governanceの略で、一般的には「企業統治」と訳されています。
 ※ コンプライアンス (Compliance) とは、「法令遵守」のことを意味します。
 ※ ステークホルダー (Stakeholder) とは、企業の活動に直接的にまたは間接的に関係する方々を意味します。